HULFT技術に基づく 中国市場における知能養老・知能農業への応用 HULFT China 世存信息技術(上海)有限公司

ネットワーク社会のためのサービス

副董事長 兼 総経理 張圃



コーポレートプロフィール

社名	世存信息技術(上海)有限公司 HULFT China co., Ltd.
設立	2005年11月23日
資本金	1,241万元
上海本社	上海市長寧区天山西路1068号D棟3階B区画
北京事務所	北京市朝陽区霄雲路36号1302室
業務内容	HULFT シリーズ製品およびHaiDu DataSpiderの販売、開発 総合的なソリューション提案 金融:銀行、保険、証券 その他:高齢者介護、医療、政府、メーカー、エネルギー



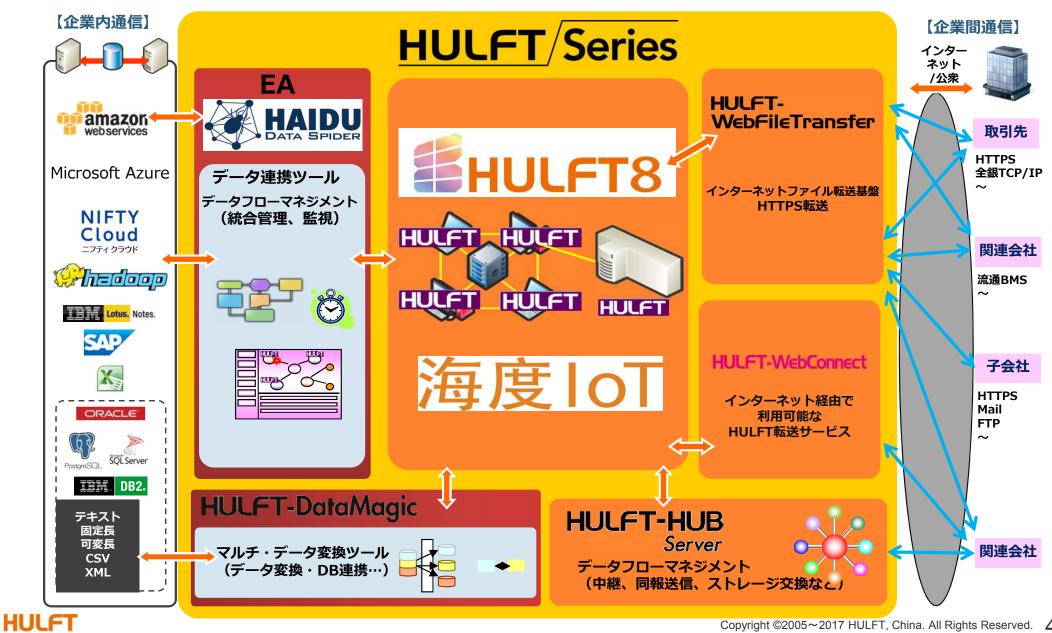




HULFT(海度) 製品シリーズ

ネットワーク社会のためのサービス





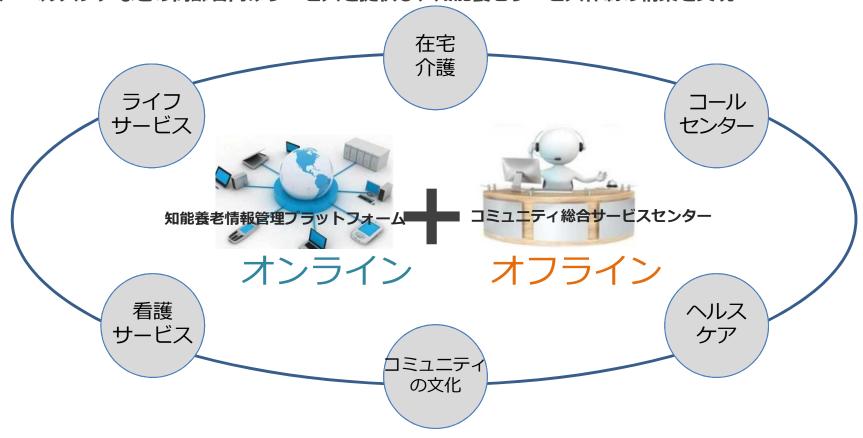
知能養老への応用

ネットワーク社会のためのサービス



オンラインとオフラインの併用で高齢者向けトータルサービス

オンライン(事業者によるサービス情報管理プラットフォーム)とオフライン(複数のコミュニティに 広がる総合サービスセンター)プラットフォームを併用し、在宅介護・ライフサービス・看護サービス・ヘルスケアなどの高齢者向けサービスを提供し、知能養老サービス体制の構築を実現

















知能養老 3ステップ目標

長期目標:

•データ分析力の改善、施策力の補完

データモデルを形成し、データ分析によってクライアント 需要、運営効果、状勢見通しを把握。管理レベルで施策を サポート。

◆二次利用可能な発展モデルの形成

運営プラットフォーム構築を通してサービスプラットフォームを展開。モデルケースの迅速な拡大と二次利用をサポート。

中期目標:

◆業務フロー基準の策定、サービス品質の向上

サービス能力育成と共に情報システムを通じたサービス基準やフローを規定。オンラインーオフライン間の対応のバラツキを回避。

周辺コミュニティにサービスを拡大展開

既に基準化されたサービスに対し、運営プラットフォームを通じてサービス内容を周辺コミュニティに拡大展開。コミュニティや組織の枠を超えたサービスを提供。

短期目標:

•AI化に向けた全体計画の完成

将来の業務発展戦略に対して分析・理解を深め、着実で実行可能な知能化スキームを策定。技術基準の確定やロードマップの実施など、将来的なプロジェクト拡大・二次利用に向けて情報化のベースを盤石にする。

•体験型販売でプロジェクトをサポート

体験型販売戦略を採用。知能化システムを通じてAI介護の魅力をクライアントに実感してもらい、将来サービスによって享受できる利益への理解を深める。



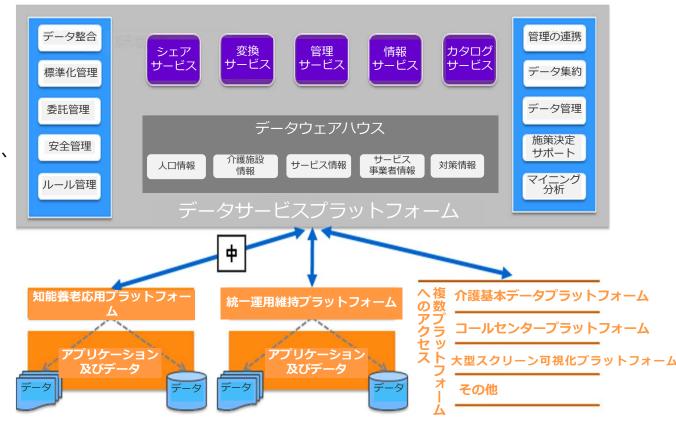
知能養老 サービスプラットフォーム

AI在宅設備 AI計測器 業務システム 居場所感知 血圧、血糖値、心電図など 専門評価システム 日中看護システム システム ワンタッチコール IoT服薬管理 在宅看護システム ホットラインなど 血压计 Distriction. intelligent family care system OMRON 0 > MITE Daily care Babybot 寶貝機 インテグ 製器砂値 か成日度用的 対対規模を 規則に同時報 に良用的力式 の心理解析 所数を指揮 指導の影響 第二型の機 心电图机 体重机 HULFT 会員データ同期 健康データ同期 サービス情報同期 健康状態アラート 居場所アラート ーション 特徴:高い安定性、簡単でスピーディなパターン変更4 テータ抽出 基本情報 サービス記録 データ分析 会員システム 変換 カルテ サービス事業者 データマイニング 基礎データ データ処理ETL サービスデータ AIデータ分析



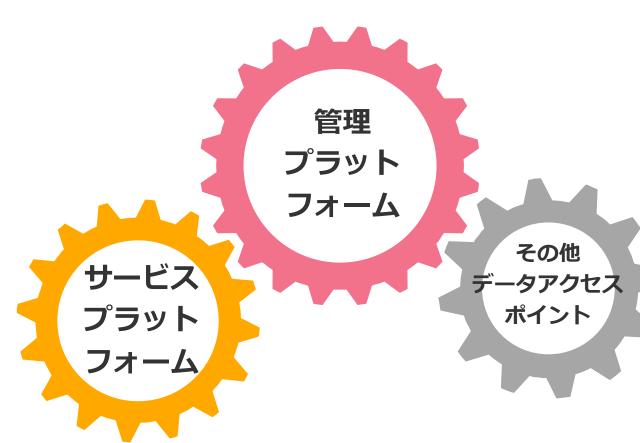
知能養老 管理プラットフォーム

- 基礎データ(高齢者データ、施設データ、サービス事業者データ、各種サービスフローデータ、行政区統一データ交換プラットフォームデータ、報告データ、民政その他の業務データ)の管理(正確性、完全性、有効性、整合性を多元管理)
- フローの管理制御
 - ▶ 緊急コールサービス
 - > ライフサービス
 - ▶ 積極的ケア
 - ▶ 家族間通話、救急サービス、 体験型サービス
 - ▶ 施策データベース
 - ▶ 知識データベース
 - ➤ 空床・入所待機
- 管理結果とフィードバック
 - 全業務内





サービスと管理の両立

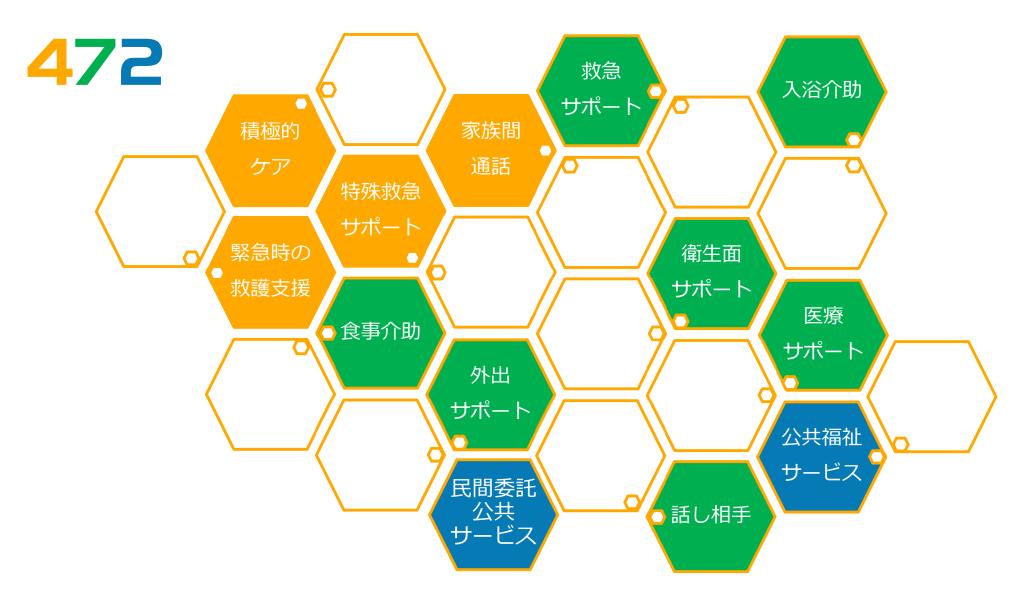


基本ルール

- (1) 政府指導の順守、社会参加
- (2) オープンな選択、サービスによっ て料金を決める
 - (3) 地域性の考慮、サービスの分類

業務

- (1) 指導の強化
- (2) 計画の統合、調整
- (3) 協力関係の構築





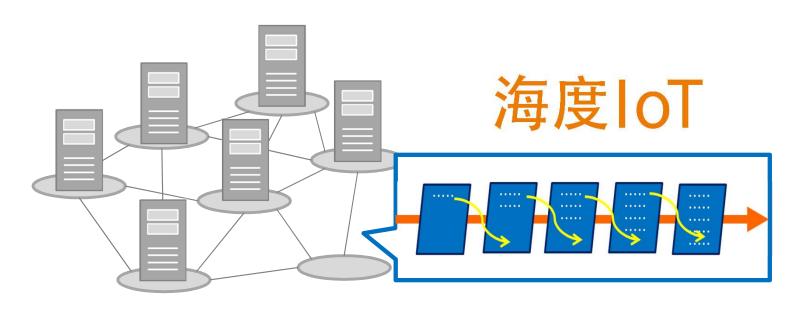
業務によるデータ化の加速から、データによる業務の加速へ 局面がシフト、IoT端末の利用拡大によりデータ量も急増





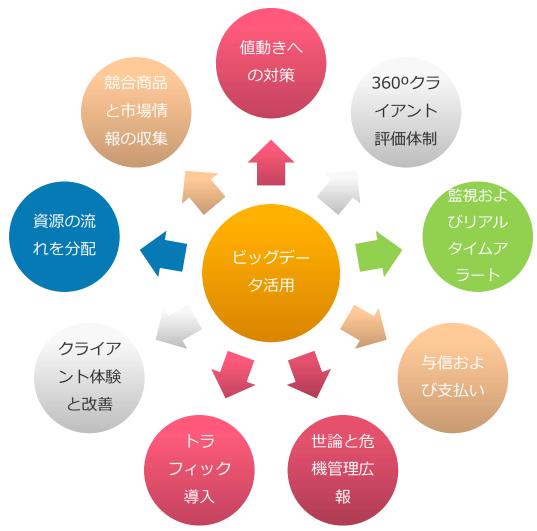
ビッグデータの使用・管理により、データ量の増加スピードが加速すると 同時に、どのようにデータの信頼性、最新性、正確性、セキュリティを保 証するか。

斬新なIT基盤が求められる(ブロックチェーン技術)





データマイニングと機械学習により業務施策を徐々にサポート





知能農業への応用

ネットワーク社会のためのサービス



海度IoTの強み

- 1. 通信データの圧縮によって、通信コストを削減(日本の製造業において1/2削減事例あり)
- 2. 通信データの圧縮によって、通信エラー率を低減、通信速度を向上
- 3. 通信データの圧縮によって、今後データ量の増加にも簡単に対応できる
- 4. データ伝送のセキュリティを保証。未送達データの調査・管理が可能

日本の土壌検査設備会社の紹介

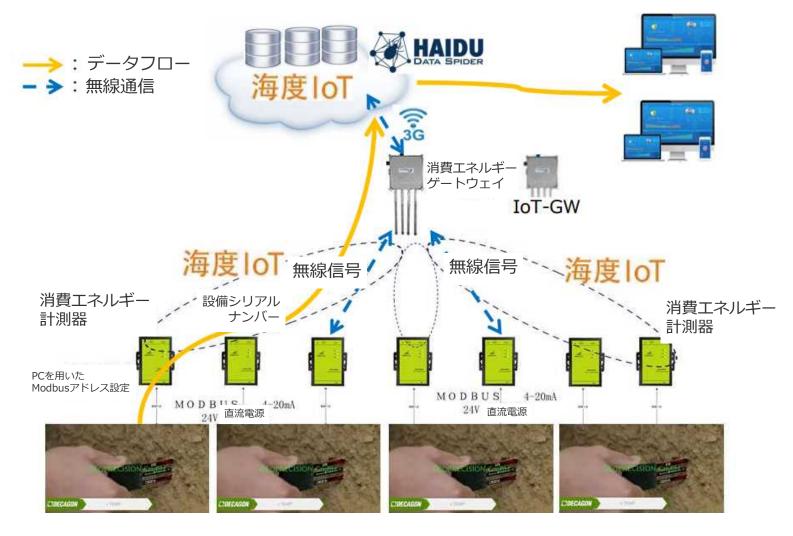
4,000社近い日本企業、学会、政府機関での導入実績 東京農業大学/大阪大学/日立製作所/SONY/パナソニックなど





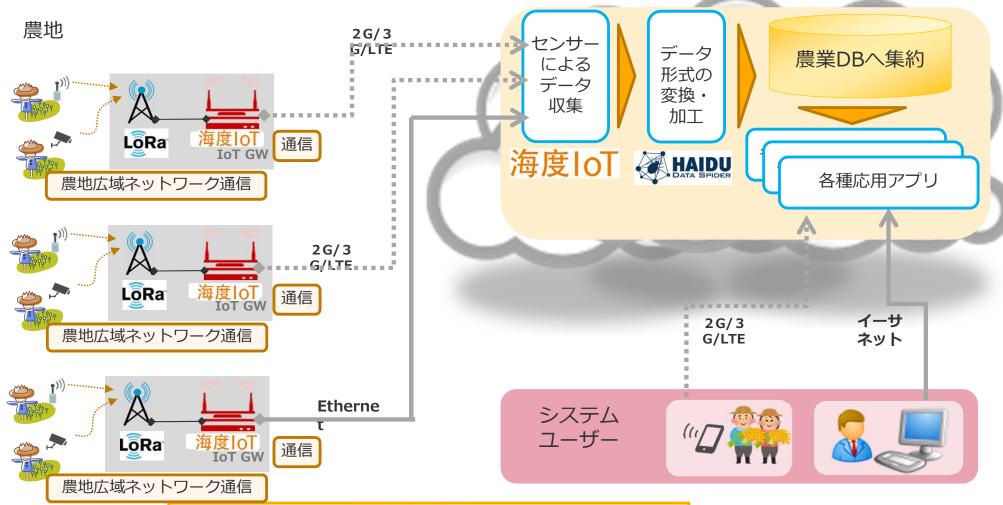


システム構成



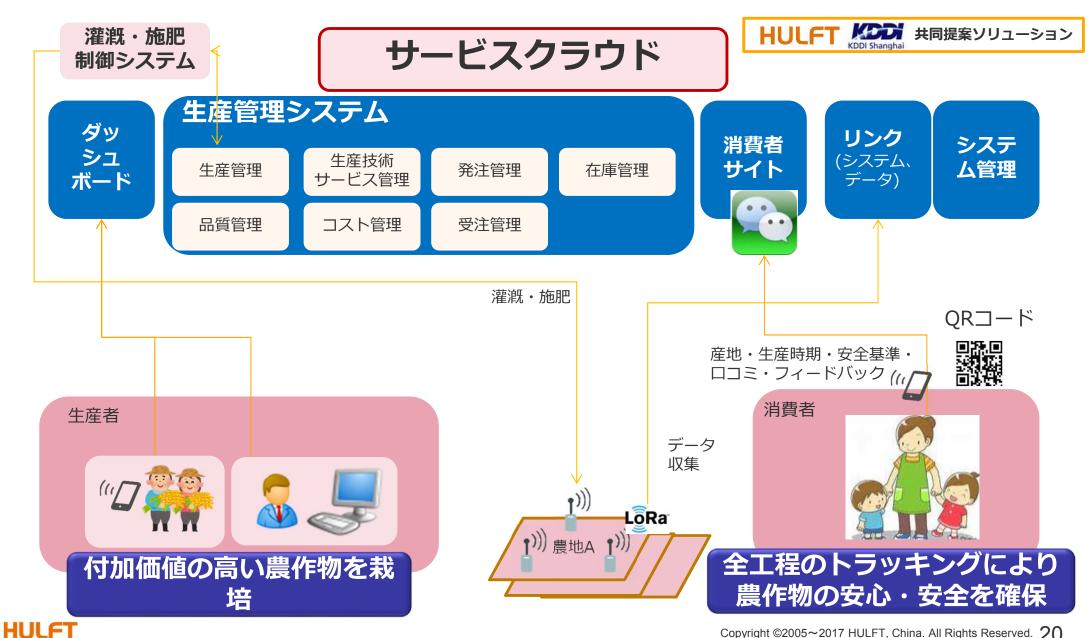


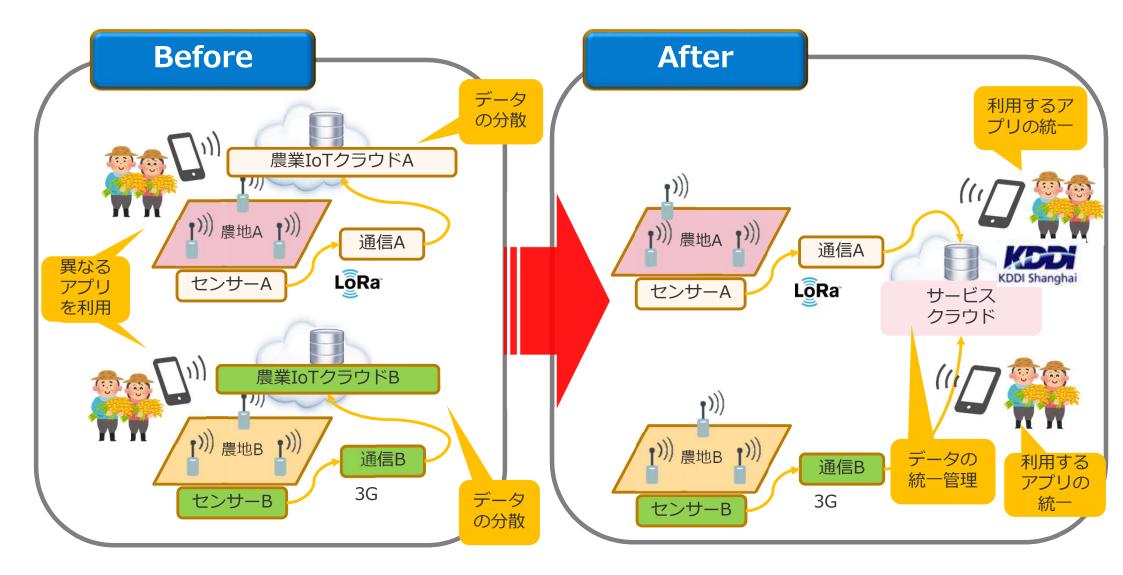
各種センサーから配信されるデータをリアルタイムに収集・蓄積し、分析データを柔軟に変換・加工

















北京/010-8447-5989 上海/021-62399201 範哲/ 18600391404 褚欣/15120005226 賈子娟/15117928286 超天賀/13520143884 厳胤傑/13788982289 郭博稀/18617096984

